

ベクトル空間

内積

数ベクトルの内積

実ベクトルの場合 実ベクトル $x = \begin{pmatrix} x \\ y \\ z \end{pmatrix}$ と $a = \begin{pmatrix} a \\ b \\ c \end{pmatrix}$ の内積は,

$$\begin{pmatrix} x \\ y \\ z \end{pmatrix} \cdot \begin{pmatrix} a \\ b \\ c \end{pmatrix} := ax + by + cz \quad (1)$$

で与えられる. 内積を使うと, x の“長さ”は

$$\|x\| = \sqrt{x \cdot x} \quad (2)$$

とかける. 式 2 を, ベクトル x の ノルム という.

複素ベクトルの場合 次に, 複素ベクトル $x = \begin{pmatrix} x \\ y \\ z \end{pmatrix}$ と $a = \begin{pmatrix} a \\ b \\ c \end{pmatrix}$ の内積について考えてみよう. たとえば

$$\begin{pmatrix} x \\ y \\ z \end{pmatrix} \cdot \begin{pmatrix} a \\ b \\ c \end{pmatrix} := ax + by + cz \quad (3)$$

と定義する. すると, x の“長さ”は

$$\|x\| = \sqrt{x \cdot x} = \sqrt{x^2 + y^2 + z^2} \quad (4)$$

である. ところが, $x^2 + y^2 + z^2$ は複素数である. ふつう複素数の $\sqrt{\quad}$ はとれないので, これでは困る.

そこで、 $x \cdot x$ が実数、しかもプラス（またはゼロ）になるような内積を考えよう。たとえば

$$x^*x + y^*y + z^*z = |x|^2 + |y|^2 + |z|^2 \quad (5)$$

は実数、しかもマイナスにならない。

$x \cdot x$ が式 5 のようになる内積は、

$$a \cdot x := a^*x + b^*y + c^*z \quad (6)$$

である。そこで、複素ベクトルについては式 6 を内積の定義として考えよう。

一般のベクトルの内積

前節で扱った内積（とくに複素数ベクトルについてのもの）を一般化する。

以下の条件を満たすものを **内積** (*inner product*) という。

1. $(x, y) = (y, x)^*$. つまり、順番を逆にすると複素共役になる。
2. $(x, ay + bz) = a(x, y) + b(x, z)$.
3. $(x, x) \geq 0$. 特に、 $(x, x) = 0$ であるのは $x = \mathbf{0}$ に限る。

注意 内積の左側はふつうの分配法則だが、右側は

$$(ax + by, z) = a^*(x, z) + b^*(y, z) \quad (7)$$

である。特に、左側のベクトルに係数をかけるときは、

$$c(x, y) = (c^*x, y) \quad (8)$$

である。

内積の具体例

3次元複素ユークリッド空間 \mathbb{C}^3 を考える．ベクトル $\boldsymbol{x}, \boldsymbol{y}$ の内積を，前に扱ったように

$$(\boldsymbol{x}, \boldsymbol{y}) = \sum_{i=1}^3 (x_i)^* y_i \quad (9)$$

としよう．これが内積の定義をみたすことはすぐわかる．

たとえば， $\boldsymbol{x} = (5i, 3, 1-i)$ ， $\boldsymbol{y} = (2, i, 3+i)$ とすると，内積は

$$\begin{aligned} (\boldsymbol{x}, \boldsymbol{y}) &= (5i)^* \cdot 2 + 3i + (1-i)^*(3+i) \\ &= (-5i) \cdot 2 + 3i + (1+i)(3+i) \\ &= -10i + 3i + (3+4i) \\ &= 2 - 3i \end{aligned} \quad (10)$$

である．一方，内積の順番を逆にすると，

$$(\boldsymbol{y}, \boldsymbol{x}) = 3 + 3i \quad (11)$$

であるから，注意しなくてはならない．

また，ベクトル \boldsymbol{x} のノルムは

$$\begin{aligned} \|\boldsymbol{x}\| &= \sqrt{|5i|^2 + |3|^2 + |1-i|^2} \\ &= \sqrt{25 + 9 + 2} = \sqrt{36} = 6 \end{aligned} \quad (12)$$

と計算できる．¹ ノルムというのはベクトルの長さであるから，もちろん正の実数（or 0）になる．

¹てきとうに数字をきめたらうまくいった

次に、ベクトル \boldsymbol{x} を i 倍したものの内積を考えてみよう． $i \cdot \boldsymbol{x} = (-5, 3i, 1+i)$ であるから、

$$\begin{aligned}
 (\boldsymbol{x}, \boldsymbol{y}) &= (-5)^* \cdot 2 + (3i)^* \cdot i + (1+i)^*(3+i) \\
 &= -10 + (-3i)i + (1-i)(3+i) \\
 &= -10 + 3 + (4-2i) \\
 &= -3 - 2i
 \end{aligned} \tag{13}$$

ところが、式 10 と 式 13 を見くらべると

$$(i\boldsymbol{x}, \boldsymbol{y}) = -i(\boldsymbol{x}, \boldsymbol{y}) \tag{14}$$

になっている．つまり、

$$(c\boldsymbol{x}, \boldsymbol{y}) = c^*(\boldsymbol{x}, \boldsymbol{y}) \tag{15}$$

なのである．左からスカラーが出てくると、複素共役になる．

その一方で、

$$(\boldsymbol{x}, i\boldsymbol{y}) = i(\boldsymbol{x}, \boldsymbol{y}) \tag{16}$$

であることもわかる（式 11 と見比べる）．つまり、右からスカラーが出てきても複素共役にはならない．

内積では、右と左とでスカラー倍の性質が変わってしまうのである．ベクトルのノルム＝長さを実数にするために、定義の段階で対称性を捨てたのでしかたがない．